

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部長寿介護課		■担当係	高齢福祉係
■評価事業名称	北上市社会福祉協議会運営費補助金			
■事業開始年度	平成3年度			
■評価事業コード	043100 - 002	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	04 共に支えあう地域福祉の推進		
	■施策	01 地域で支えあう福祉サービスの仕組みづくり		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	社協の健全な運営を支援し、民間社会福祉活動の推進と充実を図る。社協職員の人件費に充当			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和1年度事業計画	令和1年度事業量実績
01	北上市社会福祉協議会運営費補助金	市民、北上市社会福祉協議会	補助対象職員・職員8名・期限付き職員6名・非常勤職員2名・社会福祉協議会支部業務に係る経費11名	補助対象職員・職員8名・期限付き職員6名、非常勤職員2名、社会福祉協議会支部業務に係る経費11名

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	備考
直接事業費	63,640	65,806	66,618	68,220	
人件費	1,276	1,831	845	838	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	64,916	67,637	67,463	69,058	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	28年度	29年度	30年度	1年度	指標の説明
01	地域福祉懇談会の開催	14地区 532名参加	8地区 355名	14地区 634名	14地区	地域住民に社会福祉協議会の理解と地域福祉の推進を図り地域住民が安心して暮らせる地域づくりを目指す目的で地域福祉懇談会を開催。ニーズの把握に努めている。

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

02	福祉協力員協議会	344名	343名	343名	343名	組織体制の強化ときめ細かな福祉活動を展開するため地域福祉の推進役として活動している。
----	----------	------	------	------	------	--

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

地域福祉懇談会を開催し、意見交換を行った。

問題点・課題等

複雑で困難化している地域住民の生活課題に対応できる専門職が不足している。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了